行動規範

倫理的行動に関する一般原則

ZF Compliance.
The right way!

目次

01 **はじめに**

Our World

02 **相互尊重** - 平等な権利と機会
03 **行き届いた管理** - 労働環境と安全
04 **透明性の確保** - 透明性と文書化

In the World

05 **信頼できるパートナー** - ビジネスパートナーとの信頼関係
06 **公正さ** - 公正かつ自由な市場行動、公共政策
07 **倫理基準** - 贈収賄、汚職、マネーロンダリング、謝礼金の撲滅
利益相反
08 **コンプライアンス遵守** - 製品コンプライアンス
09 **安全** - データの取り扱い、ITセキュリティ、データ保護
10 **配慮** - ソーシャルメディアとマーケティングクレーム対策

For the World

11 **地球にやさしい取り組み** - 持続可能性と環境保護
12 **他者との共存** - 人権と社会的責任
13 **手厚いサポート** - さらなる支援とサポート

14 **インフォグラフィック**

従業員各位

ZFが称賛され価値ある会社とされる理由は何でしょうか。

提供する製品だけでそう評されるわけではありません。当社の事業への取り組みやその原動力となる誠実さを評価されているのです。ZF Wayとその原則に当社の方向性が表れています。この行動規範は、当社にとっての説明責任の原則とは何であるかを表明するものです。行動規範を適用し、信頼できるパートナーであり続けることで、当社は今後も同僚や顧客、サプライヤー、その他のビジネスパートナーからの信頼に応えていきます。こうした努力によって初めて、並外れたことを行う従業員が集い、強い責任感と倫理基準に基づいて、常に正しいことを行うよう努力する会社であるという評価を得ることができるのです。誠実さは当社の成功に欠かすことができないものです。

所属部署や立場は関係ありません。私たち一人一人が
適切な判断を下し、行動規範に従って行動する責任があります。これには、正社員や契約社員の区別なく、あらゆる地位の管理職をはじめ、経営陣、監査役会に至るまですべての従業員が含まれます。さらに、ZFのあらゆる地位の管理職は、直属の部下が正しい判断を下せるよう、指導しサポートする義務があります。ZFは一丸となってこの行動規範を遵守すべく取り組んでいきます。

正しく行動できているかが明白ではない状況に直面することもあるでしょう。そういう場合にこそ、当社の行動規範が役に立ちます。当社の行動規範には、各個人が誠実に行動するために必要な基本要件が記載されており、ZFの価値観を分かりやすく説明しています。ここでは大きなカテゴリに分け、「Our World」では主に社内での問題を、「In the World」では社外とのやり取りを、「For the World」では地球規模での取り組みを説明しています。当社では変化する現状を注視し、変化に応じて行動を適応させています。

以下のことを常に自分自身に問いかけるようにしてください。

- その行動が会社の行動規範に沿っているかどうか。
- 合法かどうか。
- 会社のポリシーに従っているかどうか。
- その行動が特定の個人やグループだけでなく、会社全体に利益をもたらすものかどうか。
- 自分の取った行動が一般に公開されても問題ないかどうか。

個人として誰もがみな、ZFの今ある地位を維持し成長させることに寄与しています。こうした原則を受け入れ、毎日実践するようにしてください。

2023年ドイツ、フリードリヒスハーフェン

Dr. Holger Klein
Chairman of the Board of Management and CEO
ZF Group

Dr. Lea Corzilius
Member of the Board of Management
Human Resources, Legal & Compliance
ZF Group

Our World

02
相互尊重

従業員の多様性はZFの多大なる財産です

従業員一人一人に権限を付与し、帰属意識をもって潜在能力を最大限に発揮してもらえるよう環境を整えることは、従業員の成功もさることながら、ZF全体の成功にも不可欠です。

従業員の多様性はZFの多大なる財産です。当社は雇用のあらゆる面で均等機会の提供に取り組み、人種、肌の色、宗教、従軍経験、出身国、家系、妊娠の有無、性別、性的指向、性同一性またはその表現、年齢、配偶者の有無、精神または身体の障がい、その他法律によって保護されたあらゆる特性に基づく違法な差別やハラスメント、迷惑な身体的または言葉による誘いを固く禁じています。

差別やハラスメントは、言葉によるもの、身体的なもの、または視覚的なものなど、あらゆる形で行われる可能性があります。他の人にとっては不快で侮辱と解釈される可能性のあるジョークや俗語の使用も含まれますのでご注意ください。

ZFでは、誰かがそのような行動に関与するのを阻止するために従業員が率先してそれぞれができることを行ってくれると期待しています。また、善意で告発した人やそうした告発の調査に参加した人に対して報復することを禁じています。

Q:「同僚がハラスメントを受けているのではないかと思うのですが、どうすればいいですか。」

A: ハラスメントや差別を目撃、経験したり、そうした疑問が生じたりした場合は、上司、人事部、または現地の労働組合等に報告してください。ZFではこうした行為を深刻に受け止めており、善意で告発した人に対する報復を決して容認しません。

03 行き届いた管理

怪我のない職場、業界屈指の安全が行き届いた施設を提供することが、当社の目標です

ZFでは、どの従業員にも、イノベーションが可能でイノベーションを推進できる安全で健康的な職場環境を提供するよう努めています。

怪我のない職場、業界屈指の安全が行き届いた施設を提供することが、当社の目標です。労働災害に晒される危険を減らし、緊急事態の防止、機械の安全保護、肉体的および精神的にきつい作業の管理を徹底して、健康的な作業施設や飲料水、衛生的な食事施設にアクセスできるような健康および安全管理システムを構築、維持しています。

労働条件として、従業員が健康を維持し、危害に晒されることのない環境が期待されます。ZFでは、健康および安全に関する規則や慣行に従うことで、各自がそれぞれの役割を果たし、事故や問題行動（違法薬物の使用や合法薬物の乱用など）、安全でない作業環境を、上司、監督者、人事部または法務部に対しオープンあるいは内密に報告するよう求めています。

私は何をすればよいのでしょうか。

危険の把握、行動を基にした安全プログラム、職場の人間工学的な改善などのEHS活動に積極的に参加するだけでなく、安全に関してお互いにできるだけ気を配るようにしてください。

04 透明性の確保

ビジネス上の意思決定を責任をもって行ううえで、ZFでは正確な情報報告をお願いしています

正確な記録を残し報告することは、当社の法規制要件を満たすうえで欠かせません。財務上、法務上の整合性を維持することは、当社の評判や信頼性にとってもプラスに働きます。私たち一人一人が、それぞれの立場において、会社の全記録を正確に保持する責任を担っています。

履歴書、タイムシート、給付請求書をはじめ、経費報告書、品質保証記録、予算見積、規制当局宛提出物に至るまで、私たちは誰もが会社の記録を扱っています。すべての取引を正確に記録に残せるよう、すべての社内プロセス、ポリシー、一般に受容されている会計原則には必ず従ってください。記録する内容は、正直で正確かつ完全なものであるようにしてください。時間を正確に記録することで、不正利用を防止できます。

従業員の多くがビジネス経費アカウントを頻繁に使用しています。このアカウントには正確な内容を書き込み、記録する必要があります。経費が正当なものかどうか判断に迷った場合は、上司に確認するようにしてください。

ZFのすべての帳簿、記録、アカウント、財務諸表は、相応の詳細を表記し会社の取引を適切に反映した、ZFの内部統制および法的要件に適合したものでなくてはなりません。

記録に残されない、あるいは「簿外」の資金や資産は、一切容認されません。
業務記録や仕事上のコミュニケーションは公開される場合が多く、誤解されないためにも正確かつ思慮深い発言を心がける必要があります。メール、社内メモ、正式な報告にも同様に当てはまります。記録は必ず会社の記録保持ポリシーに従って保持または破棄する必要があります。こうしたポリシーに従って記録を保持するよう求められた場合、法務部から保持する必要がなくなったとの連絡があるまで保持し続ける必要があります。

ZF Trustline

当社では、独占禁止法、マネーロンダリング、労働関連のトピック、人権、その他の価値観などのコンプライアンス違反に対する匿名による告発を受け付けるメカニズムを設けています。告発を善意で行う限り、報復を受ける恐れはありません。
www.bkms-system.net/Trustline

In the World

05 信頼できるパートナー

顧客、サプライヤー、ユーザー、ビジネスパートナーとやり取りする場合には、公正かつ誠実であるように心がけてください

自社のブランドに対し、サプライヤー、顧客、ユーザー、その他のビジネスパートナーからは多大な信頼を寄せていただいており、当社はその期待を上回るよう努めています。ZFでは、こうした方々を会社の成長と成功に不可欠なチームのメンバーであると考えています。

誠実であることは一方的な義務ではなく、当社のサプライヤーやビジネスパートナーとも分かち合うべき責任でもあります。そのため、当社ではサプライヤーとビジネスパートナーに対し、ビジネスパートナーの原則を遵守してもらうよう求めています。サプライヤー関係を担当している場合、契約条項を盛り込み、必要に応じて監査を実施しコンプライアンスを確認することで、正しいことを行うという当社の取り組みを理解かつ共有してくれるサプライヤーやビジネスパートナーとのみ、取り引きが行えるようにしてください。

会社を代表してサプライヤーを選定する立場にある場合は、価格、性能、提供製品やサービスの品質に基づいて客観的に選定するようにしてください。すべての調達要件に従ってください。

顧客、サプライヤー、ユーザー、ビジネスパートナーとやり取りする場合には、公正かつ誠実であるように心がけてください。利益相反になる可能性があることは避け、そうしたビジネスパートナーに会社の利益と引き換えに何かを申し出たり提供したりしてはいけません。

サプライヤーやビジネスパートナーと仕事をする場合、当社の価値観やその他のポリシーを十分に理解したうえで契約に従う意思があることを確認してください。

ZFのビジネスパートナーがビジネスパートナー原則のいずれかの条項または法律に違反している可能性があると考える場合、企業コンプライアンスに報告してください。

Q:「新しい設計パートナーの採用を任されています。偶然にも友人が
設計事業を行っているのですが、この友人を採用してもいいでしょうか。」

A: 不適切であるという印象を払拭するために、利益相反の可能性があるということを上司に申し出てください。

06 公正さ

当社の倫理基準は、例外なく公正な意思決定を行うための指針となります

ZFは、国際的な反トラスト法や競争法などをはじめ、適用される法規制を遵守し、公正かつ誠実に競争することを目指しています。

その点において、以下の行為を禁止しています。

- 価格または価格構成要素の固定、提供される製品やサービスの種類または数量の制限、不正入札、あるいは市場の細分化を目的とした（ただし、これらに制限されない）、現在または潜在的な競合相手との反競争的な契約または談合。
- 市場における主導的地位の悪用。
- 適用される法律に違反して、公正で自由な競争を妨害、阻止、制限するような垂直契約。

当社の競争力は、専ら事業の成功要因（特に排出ガス削減、車両安全、自動化、データ）に基づいて築かれたものです。ZFの顧客、サプライヤー、競合他社とは、公正に思いやりをもってやり取りする必要があります。所有者の同意なしに所有権や営業秘密情報を盗むまたは奪うことは禁止されています。以下のような不正なやり方で誰かを利用することがあってはいけません。

- 特権的情報の乱用や開示。
- 重要な事実の虚偽表示。
- 価格やその他の条件に関する競合他社との談合。
- 入札禁止期間を含む公正な入札慣行に対する違反、またはあるベンダーが別のベンダーより有利になるような情報の提供。

こうした行為はまた、違法である可能性があります。

ZFでは、政府関連業務や公共政策プロセスへの取り組みを細心の注意を払って管理するとともに、こうした取り組みを調整する社内チームを構成しています。支援活動に関する戦略的な意思決定は最高水準で取り決められ、承認された人材のみがこのプロセスに参加できます。

プライバシー、知的財産、持続可能性などの分野の自社事業や顧客にとって重要な政策議論に関与することがあります。そうした場合、政府のあらゆる地位にある政策立案者に当社の製品、イノベーション、事業を理解してもらうよう努めています。

ロビー活動を通じて不当な利益を得ようとしたことは一切ありません。

グローバルな活動に伴い新しい市場に参入する場合、適用される貿易規制を厳守し、輸出入規制に関する規則や規制、適用されるすべての禁輸措置を遵守しています。

Q:「地元の有名な政治家が、当社の施設の一つでメディアイベントを開催したいとしていますが、承認してもよろしいでしょうか。」

A: ZFは超党派です。決定については適切な社内部門に問い合わせてください。

07 倫理基準

ZFの全従業員および役員がそれに従うことになる意思決定は、倫理的かつ合法的であるべきです

汚職は、国際条約、国内法、および社内ガイドラインによって禁止されています。ZFは、従業員またはビジネスパートナーの間でのいかなる形態の贈収賄行為、または不適切な影響を及ぼすような印象を与えかねないいかなるビジネス慣習も容認しません。このことは、汚職に関するいかなる地域的慣習があったとしても、容認しません。

顧客、サプライヤー、その他のビジネスパートナーとの仕事上の接待や贈答品などの謝礼は、不適切な利益を得るためではなく、善意を示し良好な仕事上の関係を築くために行うものです。

贈答品や接待は、単に提案されたり要求されただけであっても、以下の場合に不適切と見なされる可能性があります。

- 現金、または現金に相当するもの。
- 慣例的なビジネス慣習と矛盾するもの。
- 過大に価値があるもの。
- 次のような場合は、賄賂や献金と見なされる可能性があります。
- 法律に違反するもの。

贈答品として現金を受け渡すことは禁止されています。高価な贈り物や不適切だと考えられる贈り物については、Compliance Officerや法人コンプライアンス部に相談するようにしてください。

マネーロンダリング（違法な資金源の隠蔽やそうした資金を合法に見せるために取引すること）は固く禁じられています。マネーロンダリングに関連していると考えられる疑わしい行為については、マネーロンダリング防止責任者に報告してください。

以下に疑わしい行為の一例を挙げます。

- 現金での支払い。
- 状況に応じてあまり広く使用されていない通貨での支払い、または契約書に記載されたものとは異なる通貨での支払い。
- 契約書で求められているものとは異なる支払い金額の要求。
- 契約当事者ではない個人または企業による支払い。
-

個人の私益がZFの利益に何らかの形で干渉する場合、利益相反が生じます。利益相反は、従業員がZFの業務を客観的かつ効率的に実行しにくくなるような行動を取ったり、利害関係を持ったりした場合に生じる可能性があります。利益相反は、従業員やその家族がZFでの地位を利用して不適切な個人的利益を受け取るといった場合にも生じることがあります。競合他社、顧客、またはサプライヤーが同時に利するように働くことは、ほとんどの場合利益相反になります。

Q:「出張先で高価な時計を贈られましたが、そのまま持っていても大丈夫でしょうか。」

A: 高価な時計は受け取れません。不明な点については、上司、Compliance Officer、企業コンプライアンス部に相談してください。

08 コンプライアンス遵守

当社は自信をもって基準を高く設定し、従業員、プロセス、製品が一丸となって適用される法的要件を遵守していきます

ZFは、法的かつ倫理的な行動に関する最高基準を自らに課し、適用される法規制および基準に準拠した安全で高品質な製品を作ることに専心しています。

ZFで働く全員が、自社製品の製造や販売、サービスや技術に適用される要件について、理解してくれるものと期待しています。

この理念は、ZFのProduct Compliance Management System（PCMS）をはじめとするZFのポリシー、プロセス、構造を通じて実践されるとともに、すべての従業員および役員はこれらの基準に従う必要があります。

今後の計画

法規制は刻々と進化しています。私たちも「ZF Way」に従って今後に備えていくことが不可欠です。

動向や規制要件を予測し、グループ全体で中断することなくコンプライアンスを維持していく所存です。

09 安全

ZFの業務を行う以外のいかなる目的のためにも、ZFの機密情報を使用したり共有したりすることはできません

ZFを保護するという観点において、誰もが重要な役割を果たしています。資産には、ZFの専有情報（知的財産、機密事業計画、未発表の製品計画、販売マーケティング戦略、その他の企業秘密など）のほか、現金、設備、供給品、製品在庫などの物理的な資産が含まれます。

- ZFに関する未公開情報はすべて、それぞれの機密要件に従って取り扱う必要があります。
- 自身の発言に気を付けてください。自分の立場、周りにいる人、見たり聞いたりすることに注意を払うことは、ZFの知的財産を守るうえで重要なことです。
- 当社の資産を守りましょう。会社から託された資産や情報を追跡し続け、損失や誤用、浪費、窃盗を防いでください。
- 模範を示しましょう。いつでも当社の資産と情報を守り抜くという模範を示してください。

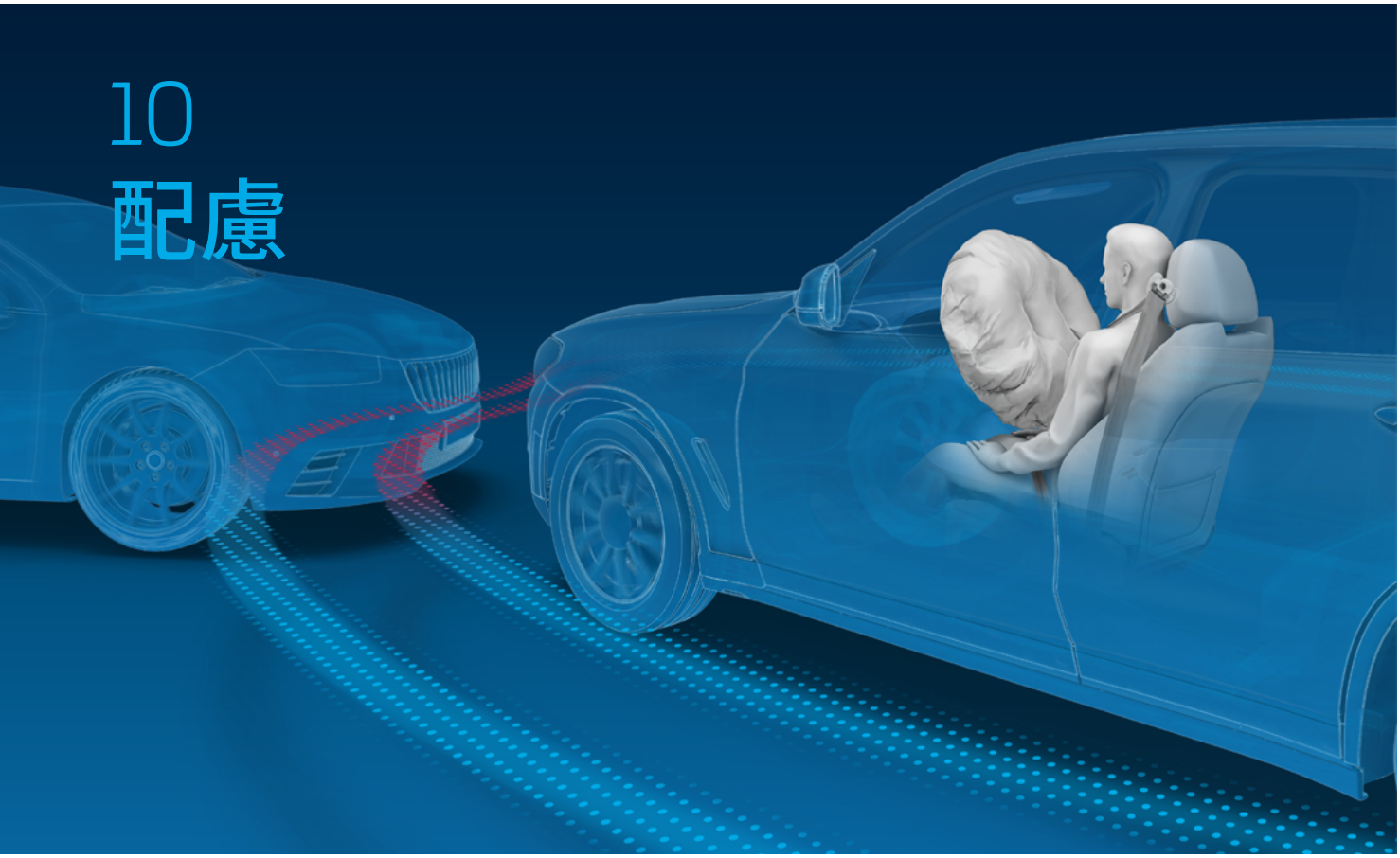
注意深く、意識して行動しましょう。当社の防衛最前線という意味で、皆さんは人的ファイアウォールであり、賢明なセキュリティ上の意思決定を行うことでサイバー犯罪者と当社のインフラストラクチャとの間に障壁を構築することができます。

不明な点については、ZFの企業セキュリティ担当に問い合わせてください。
ZFはすべての人の権利を尊重するとともに、当社の従業員、サプライヤー、顧客、当社と取引のあるその他すべての関係者の個人データを保護します。ZFでは、こうしたデータを安全に保ち、意図したビジネス用途においてのみ使用し、必要以上に長く保持することは決してありません。

データ保護に関する問い合わせ先:
dataprotection@zf.com

Q:「上司から、上司のパスワードを使って会社のシステムにログインし、いくつかのレポートを取得するように言われましたが、大丈夫でしょうか。」

A: いいえ。パスワードを共有することはZFのポリシーに反します。自分にはこのシステムにアクセスする権限がないことを上司に知らせるべきです。



10 配慮

良好な関係を築くための基本は信頼です

取引の場面では、顧客は当社の社員による製品説明の内容に信頼を置いてくれます。

サプライヤー、顧客、ユーザー、その他のビジネスパートナーとの関係は、公正で積極的かつ生産的であることはもちろん、常に相互の信頼と尊敬に基づいたものでなくてはなりません。こうした関係は一旦築けば終わりではなく継続していくものであり、可能な限り高いビジネス行動基準に照らして取り組みを続ける必要があります。こうした関係者とのやり取りの場では必ず、私たち一人一人が誠実さを示し、当社の価値観に沿った取り組みを進めていかなくてはなりません。

常に真実を語らなければなりません。顧客、サプライヤー、ユーザー、その他のビジネスパートナーに伝えることは、当社の製品ラベル、広告、その他のコミュニケーションを含めすべて真実である必要があります。公正でなく欺瞞的な、あるいは誤解を招くような行為を行わないようにしてください。名声とは勝ち取ることが難しく、簡単に失ってしまうものです。

ソーシャルメディアは賢く利用し、責任をもってコミュニケーションを図ってください。ソーシャルメディアでZFについてコメントする場合は、会社を代表して発言しているのではない旨を明確にするようにしてください。ZF、顧客、サプライヤー、競合他社、その他のビジネスパートナーに関する機密情報は決して開示しないでください。また、脅迫、威嚇、ハラスメント、いじめに該当する恐れのある投稿は決して行わないでください。

私は何をすればよいのでしょうか。

投稿で、自分がZFを代表して発言しているように聞こえたかもしれないとの懸念が拭えない場合は、上司またはコミュニケーション部門に連絡してください。そうすれば、会社が対応することで被害を最小限に抑えることができます。

For the World

11 地球にやさしい取り組み

当社は、環境への影響を抑え最小限に留めることができるように尽力しており、持続可能で共有できるよりよい未来を創造しようと取り組んでいます

ZFの目する持続可能性とは、人々の生活やコミュニティ、ひいては地球に変化をもたらすものです。

気候変動との戦いでは、私たち一人一人の行動が重要になってきます。ZFは製品を提供することで、排出量削減や環境保護、安全なモビリティ強化を推進しています。

ZFは、サプライヤーやビジネスパートナーと共に、バリューチェーンに沿って脱酸素目標達成に貢献しています。

ZFは、地球の自然環境を尊重し、資源保護、環境汚染の低減（廃棄物の最小化や循環型経済原則の適用など）、環境被害の防止に取り組んでいます。
この持続的な環境保護への取り組みが、ZFの活動基盤となっています。

この原則に従い環境にやさしい製品設計に尽力することで、当社の業務プロセスが環境に与える影響を低減し、当社のエネルギー利用と環境保全への取り組みを継続的に改善して、ZFをグローバルモデルとして確立することを目指しています。

テクノロジープロバイダとして、ZFは今後も紛争鉱物の使用に依存する必要がありますが、シェアを減らし危機的な供給源を効果的に除外するようできる限りの努力を続けていきます。

私は何をすればよいのでしょうか。

責任をもって資源を使用する、排出量の抑制に努める、環境法令を遵守する、ZFの持続可能性、リサイクル、補充への取り組みに参加することで、一人一人が役割を果たすことができます。

12
他者との共存

相互尊重、信頼、寛容、公正さで評判の会社

当社は、人権に関する規制、国連「グローバルコンパクト」原則、ILOやOECDガイドラインなどの認知された国際的な労働および社会基準に従って活動しています。

ZFは、すべての人類の尊厳と平等、相互尊重、信頼、寛容、公正さを普及させていくべきであると強く信じています。

これらの原則に沿って、新入社員の採用や現在の職務を遂行する従業員との交流や奨励、また従業員の職業上の昇進を進めています。各個人の尊厳、プライバシー、および人権を尊重しています。

意に反した行動を人々に強要することになる、強制労働、投獄、束縛、年季奉公、奴隷労働、あらゆる形態の人身売買は禁じられています。

当社は、人身売買、強制労働、搾取的児童労働など、あらゆる形態の現代版奴隷制度を否定します。

国際労働機関（ILO）が定義しているように、子どもから幼少期や可能性、尊厳を奪い、身体的および精神的な発達に害を及ぼすような仕事を課すことは、ZFの価値観に一致しません。ZFでは、国内法令で定められた最低雇用年齢を常に遵守しています。

当社は、従業員やビジネスパートナーとの間に相互尊重、信頼、寛容、および公正性を特徴とする環境を創出するための努力を惜しみません。

社会的責任として人権を尊重するということは、当然のこととして法律に従い遵守するということです。事業を行うにあたり、あらゆるビジネス上の意思決定において法律を遵守する義務があります。これにはサプライチェーンにおける人権問題も含まれます。ZFでは、違反が確認された場合の「救済への取り組み」を実施しています。当社は、集会の自由、結社の自由、団体交渉を含む、公正な労働条件についての関連規制を遵守します。当社は、責任の範囲内での社会保障を推進し、意見の自由や表現の自由の権利を尊重します。

自分の仕事が人々に与える影響について考えるようにしてください。ZFの社内外を問わず、誰かにマイナス影響を与えると考えられる場合は、上司、労働者代表、ZF Trustlineに相談してください。

ZFでは、社会的責任を認識し、こうした基準を遵守することはもちろん、当社の取り組みである「ZF hilft」を通して基準を上回る取り組みを行っています。

ZF hilft

「ZF hilft」について詳しくは、
こちらをご覧ください:

www.zf-hilft.de/site/zfhilft

手厚いサポート

前述の規則に基づく行動に関して質問や疑問がある従業員は、いつでも上司に連絡することができます。また、Compliance Organization、特にComplianceHelpdeskでは、コンプライアンスに関するすべての事項について当社の従業員をサポートすることができます。

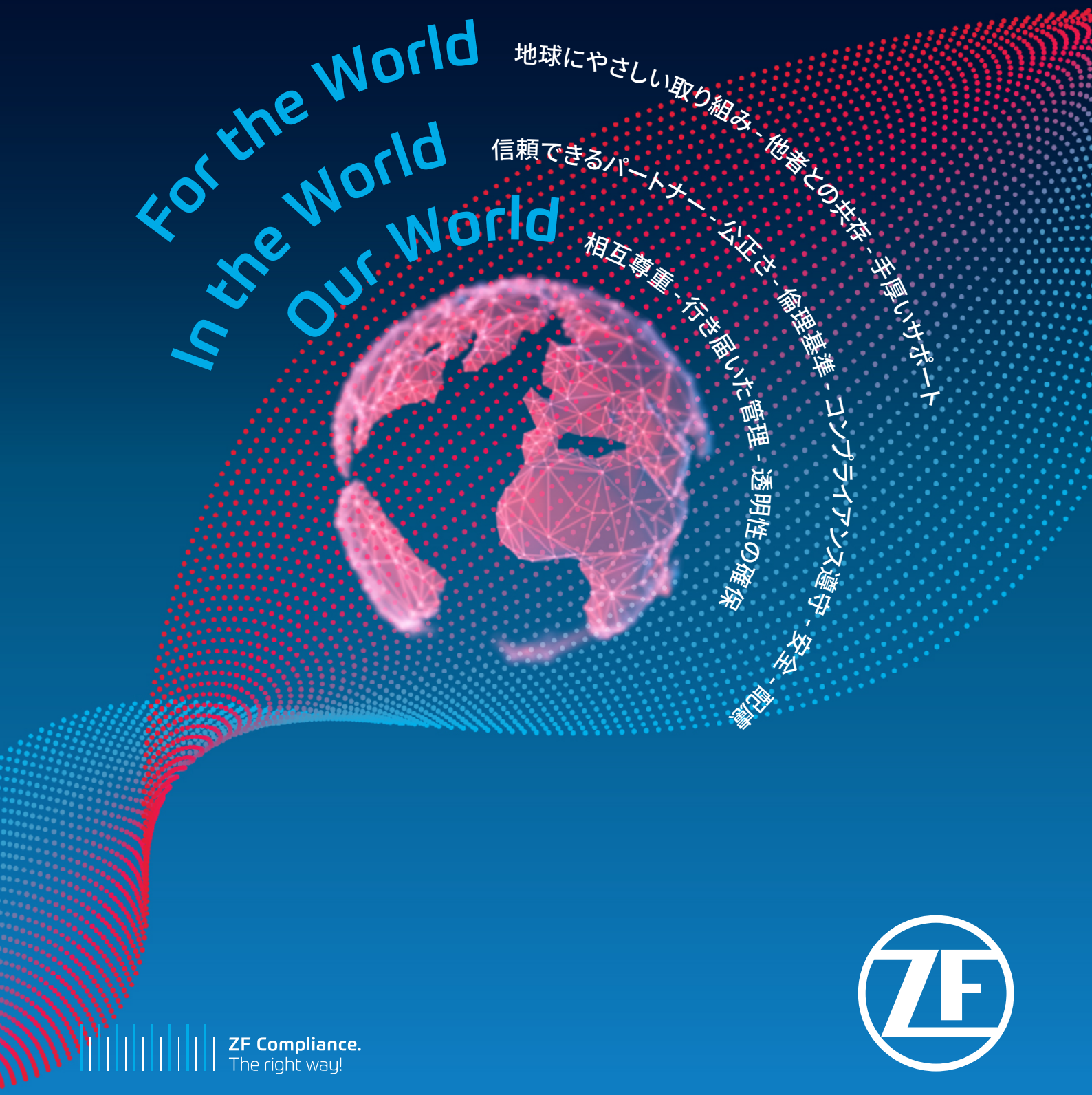
さらに、ZFでは社内規制やガイドラインを詳しく説明した補足文書も用意しています。

企業コンプライアンスに関する連絡先：
メール: compliance@ZF.com

また、当社はコンプライアンス違反のための匿名による報告経路としてZF Trustlineを提供しています：https://www.bkms-system.net/Trustline

当社従業員は、イントラネットで詳細情報を確認できます。
https://sl.zf-world.com/Compliance

行動規範 ...



ZF Compliance.
The right way!

ZF Friedrichshafen AG
ZF Forum | Headquarters
Löwentaler Straße 20
88046 Friedrichshafen Germany

www.zf.com